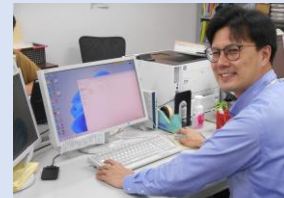


この数年で新しい水族館が次々オープンし、水族館ブームを感じます。私をはるかにしのぐ水族館マニアの人がテレビや書籍で紹介されています。昭和後期にはイルカのショー、平成期には大水槽の多種混泳、シャチやジンベエザメの展示など大型化が水族館ブームを呼びました。一方、最近の水族館の特徴は都市型です。駅近の商業施設内を売りにかけて、ソラマチのすみだ水族館、川崎駅前の川崎水族館、札幌の大通駅すぐの AOA SAPPORO、まだまだあります。都市型でもアート系、ふれあい系などさらに進化した水族館があります。アート系ではアクアとアートを掛け合わせた神戸の atoa、金魚で和の美を表現した銀座のアートアクアリウムなどがあり、ラブラブな二人が多くてオジサン一人で行くとなじみます。ふれあい系では「〇〇に触れる」をそのまま施設名にした大阪のニフレル、川越駅近に昨年オープンしたアクアパーク川越など、怖がらずに生き物と触れ合ってみましょう。これら多くの施設に共通するのは、水族の名前や生態などの説明は最小限で、感覚で楽しむことがメインになっているところ。旅行ではなく、思いつきでふらっと寄れる水族館がたくさんあります。是非お出かけください。



### 緩和ケア私の仕事 地域と病棟のパイプ役 総合サポートセンター 事務 奥山 翔太

総合サポートセンターの奥山と申します。普段は医療機関から受診や入院の相談を受け各部署との調整をしていますが、時に転院の患者様を搬送する救急車を運転するなんて仕事もしています。緩和ケア病棟に関わることで、入院の調整をしている関係を利用して地域の医療機関に病棟の紹介をしています。緩和ケア病棟の機能は案外知られていないこともあり、例えば、ペインクリニックの医師と連携した神経ブロック目的の入院、専門医療機関へ放射線治療のための転院調整、家族の都合等で一時的に入院できるレスパイト利用などいろいろ対応しています。この仕事に関わって初めて知ることも多く毎日が勉強です。その分、緩和ケア病棟について丁寧にお知らせできると思いますので多くの医療機関の方と顔を合わせて、スムーズな入院ができるように心がけています。訪問先では緩和ケア病棟に登録された方や入院された方についての、入院中はどうでしたか、退院後の様子はこうですよと皆さん丁寧に情報を共有いただけます。



医療機関同士でしっかり連携を取っていますので、訪問診療や介護サービスのように、病棟への入院もみなさんを支える選択肢のひとつになればと思っています。

### 第2回テラス新聞写真 コンテスト開催



6/29~7/29の期間に「いい夏」をテーマに身近な写真をスタッフ、緩和ケア病棟入院中患者様やご家族から応募します。応募作品の中から、編集部で優秀作品を選出したいと考えています。多くの参加をお待ちしています。



6月のある日、梅雨の晴れ間のテラスデッキです。雨で濡れたデッキに空が映り込み、スカイロードがみられました。

# 緩和ケア・テラス新聞⑫

埼玉協同病院東5病棟

2026年6月号



埼玉協同病院東5階緩和ケア病棟のホームページは

こちらからもご覧になれます。



今後のイベント予定

・6/30

あじさいコンサート